

飯田市の水道施設

～令和10年度で通水100周年～



広い市域に中山間地に集落が点在し、多くの水道施設があります

- 浄水場19か所（上水道7、簡易水道12）、井戸水源6か所
- 配水池123か所（上水道88、簡易水道35）
- ポンプ場26か所（上水道21、簡易水道5）
- 水道管（送水管・配水管など）の総延長約1,186km
（上水道1,101km、簡易水道85km）



建築から50年を経過した配水池や、敷設から60年以上経過した水道管があります。



配水管での漏水

水道の心臓部・妙琴浄水場の更新

～水の供給を止めずに新しく～



市民の6割以上の飲料水を担う妙琴(みょうきん)浄水場。

非常時には市民の9割に飲料水を提供できるように、砂払浄水場区域や野底浄水場区域に水道水を補完できる機能があります。

令和5年度から令和25年度まで、10のステップで施設を運転しながら更新施設へ切り替えを行い、整備を進めます。

写真中央の管理棟は更新が完了しました

計画的に水道施設の更新をします



近年、災害の発生頻度が高まっていますが、いざという時に被害を最小限に留めるためにも、老朽化した水道施設を計画的に更新したり、長寿命化して維持管理する必要があります。配水池を統合して更新したり、耐震診断をもとに長寿命化をはかるなど、効率的、効果的に建設改良計画を実施します。



←入野中継ポンプ場
令和8年度中に
完成予定です。

入野大瀬木配水池
完成予想図→
令和10年度までに
更新を行っていきます。

